

■移転統合後の施設の概要■

開設者	地方独立行政法人 宮城県立こども病院
病院の名称	宮城県立こども病院 (児童福祉施設名称 宮城県立拓桃園)
病床予定数	241床 (本館 160床 拓桃館 81床)
施設	本館; 鉄筋コンクリート造地上4階 (免震構造) 拓桃館; 鉄筋コンクリート造地上4階 (免震構造)
関連施設	学校棟; 鉄筋コンクリート造地下1階地上4階 (耐震構造)

宮城県立こども病院の新病院棟（拓桃館）及び本館増改築工事がほぼ完成する運びとなり、宮城県拓桃医療療育センターが平成28年3月1日（火）より宮城県立こども病院に移転します。

また、新病院棟（拓桃館）は3月7日（月）より診療を開始します。

現在のこども病院棟は「本館」、新病院棟は「拓桃館」となり、拓桃支援学校（新学校棟）も含め渡り廊下で結ばれます。

病院の運営は、地方独立行政法人宮城県立こども病院が行い、本館及び拓桃館に配属する医療スタッフが、急性期から慢性期に至るまでの高度な医療・療育サービスを提供します。

年月	これまでの経緯・今後の予定
平成22年11月	宮城県拓桃医療療育センターあり方検討会の報告
平成23～25年度	基本・実施設計、附帯工事（広瀬高校プール移設等）
平成25年11月	新病院棟・新学校棟本體工事開始
平成27年4月	地方独立行政法人宮城県立こども病院が宮城県拓桃医療療育センターの運営を、太白区秋保の現在地にて開始
平成27年7月	新病院棟・新学校棟工事完了
平成27年8月	こども病院既存棟増築・改修工事開始
平成28年3月1日	太白区秋保の拓桃医療療育センターが移転
平成28年3月7日	新病院棟（拓桃館）の診療を開始

～移転・統合後の宮城県立こども病院の理念～

- 私たちは、こどもの権利を尊重し、こどもの成長を育む心の通った医療・療育を行います
- 私たちは、高度で専門的な知識と技術に支えられた、良質で安全な医療・療育を行います

完成図

病院棟【本館】(既存棟)

新病院棟【拓桃館】

新学校棟【支援学校】

※下記は移転後の主な部門を表示しています

	こども病院既存棟(本館)	新病院棟(拓桃館)	新学校棟
4階	病棟, 屋上広場	屋上ヘリポート	機械室
3階	病棟, 産科, ICU, 手術室	療育型病棟, 保育室, 多目的ホール	小学校部, 図書室, 理科室
2階	病棟, 医局, 管理諸室	医療型病棟, リハビリ諸室	中学校部, 美術・音楽室
1階	診察室, 放射線・検査諸室 救急処置, 総合案内・食堂	診察室, 歯科診察室, 会議室	幼児教室, 保健室, 職員室 (※地下1階 病院駐車場)

※上記太字の部門は、両館で共同的に利用する予定です

ミニ知識

◆宮城県拓桃医療療育センター
児童福祉法に基づく「医療型障害児入所施設」として、また、医療法に基づく「病院」として、手足に疾患がある子どもに対する医療・療育を提供する場として昭和30年に県が設置した県営の施設です。平成28年春の移転に先立って、平成27年4月1日から同センターは、県から「地方独立行政法人宮城県立こども病院」に運営を移行しています。

◆宮城県立拓桃支援学校
長期間の入院(入所)生活を余儀なくされる児童生徒の教育の機会を確保するため宮城県拓桃医療療育センターに併設している県立の特別支援学校です。小学部と中学部があり、新病院では、児童生徒は「拓桃館」から渡り廊下を通過して登校します。

◆宮城県立こども病院
東北唯一の小児高度専門医療施設として県が整備し、平成15年11月に開院した病院です。「地方独立行政法人宮城県立こども病院」が運営しています。

平成二十八年三月一日（火）

拓桃医療療育センターが新病院棟（拓桃館）に移転

します

※新病院棟（拓桃館）は平成二十八年三月七日（月）から診療を開始します